

標本棚

私

と

文学

大宅壮一は生きています

公益財団法人大宅壮一文庫専務理事 鳥山輝

「ロコ」に「二億総白痴化」などの造語を残し、あらゆるメディアで活躍した評論家大宅壮一が亡くなって半世紀の月日が流れた。ところが、いまだに大宅に匹敵するマスコミ人は現れない。そのせいか、近年存在の大きさが見直され、大宅研究が活発になっ

大宅壮一は一九〇〇年に大阪・高槻市で生まれた。父は醤油製造販売業を継いで裕福だったが、放蕩三昧で家が傾き、壮一は尋常高等小学校時代から家業をまかされた。醤油を売りに大阪までの道を往復し、肥桶を担いで農作業をしながら頭の中の原稿用紙に文芸作品を書きながら雑誌に投稿。いつも採用され、西の横綱にランクされた。同じ学校の先輩川端康成も投稿を続けたが採用されず、のちのノーベル賞作家を悔しがらせたという。

県立中学進学後は社会問題に関心を持ち、行き過ぎた言動で退学させられながら検定試験で同級生より一年早く三高に進学。東大生になると評論活動を始め、分業方式で迅速出版する集団翻訳団を思いつき「千夜一夜物語全集」を毎月刊行して脚光を浴びた。

日中戦争が始まると、戦地取材に駆け回る。ジャワに向かう輸送船がオランダ海軍に撃沈され、海に投げ出されて九死に一生を得たことも。帰国後は筆を断って農耕生活に入り、農作物のほか養豚、養鶏、養蜂まで一人でこなし、家族や近所の農家をびっくりさせた。

その後、文筆生活を再開。「毎月原稿五〇本、テレビ・対談五〇回」と引張りだこになり、「メディアの帝王」と呼ばれた。そして一九七〇年、七〇歳で波乱万丈の生涯を終えた。



大宅壮一夫妻

大宅は、ジャーナリストとして君臨しながら多くのマスコミ人を育て、権威ある「大宅ノンフィクション賞」、明治以降のあらゆる雑誌を収集して一発検索できる「大宅壮一文

庫」を残した。筆者は学生時代「大宅壮一東京マスコミ塾」に入り、直接薫陶を受けた。その後、新聞記者、出版社経営を経て大宅文庫専務理事をしているが、いまつくづく思うのは「努力する天才」だった大宅ほどスケールの大きなマスコミ人はいないということだ。

好奇心を持ち続ける、自分でできることは自分でやる、無私の心……。こうした大宅精神は、コロナ禍で生き方や価値観が変わりつつある今こそ、求められるものではないか。

詩歌集 緑のひつぎ・秘めうた

詩人・小説家 関口 彰



表紙 鳥山輝社 定価 1600円(税別)

カメ虫

秋の日 陽盛りの窓辺へ立つと 黒ずむ褐色のカメ虫が 網戸に数匹はばりついている

追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても 追いかけても

江戸城築城の秘話(その九) 『江戸の町人のくらし』

江戸文化歴史研究員 窪田 孝

戦国の夜が明けて、町づくりは城郭を中心にして武家地、寺社地のみならず、町人地を含めた統合的な町づくりが重要であった。天正十八年(一五九〇)の江戸入府から、常磐橋から浅草橋にかけて、本町の町割りを行



武州豊前郡江戸庄図(1632)

神田山を掘り崩して砂洲や干潟等の浅瀬の低湿地を埋め立て、浜町から新橋にかけて海抜三、四mの広大な市街地を造成、日本橋を中心として、南北に新橋・京橋・日本橋・神田を貫く目抜き通りがつけられ、通りにも住む町々が割り付けられた。特に日本橋を挟む通町と室町から神

羽音

のり鉄とり鉄のみ鉄(その三) 三井化学アグロ㈱ 元代表取締役社長 谷 和功

世の中がどうあろうと、季節が来れば毎年行わなければならないのが農作業です。日本のメインは米作り、今年も田植えの真っ最中です。(暖冬で水不足が心配ですが)

いわゆる「世界遺産」ではありませんが、「世界農業遺産」というのがFAOにより創設されています。日本では十一ヶ所が認定されています。その中の一つが「能登の里山里海」で豊かな山の幸・海の幸が育まれています。

この目玉は白米千枚田と呼ばれる一〇〇四の棚田で、ボランテアなどに支えられて維持されています。小生もその「オーナー会員」になっており、昨年は田起し、



能登の里山里海

能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海 能登の里山里海



町人地の海抜

田までの地域は、すでに開発されていた本町通りと三河を中心とする西側諸国の商人や職人が居住し、幕府と大名が必ず要物資や労務を調達する町人地となり、

山の手武家地に対して下町と呼ばれた。江戸の都市構造が根本的に改編、改造されるのは明暦の大火であった。江戸市街のほぼ六〇%を焼き尽くしたが、これを機に幕府は、江戸の町を防災都市へと構造的に転換させることにした。

神田駅前から日本橋、京橋、銀座へと抜ける道が海抜三、四mの細長い峰状となっており、現在の中央通りとして尾根を走るメインストリートとなっていた。江戸の町は城を中心にして六八%を武家地、一六%を寺社地が占めていたが、町人は残り一六%の町人地に人口の五〇%、約五十万人が居住した。

田植え、稲刈りに参加しました。小泉進次郎環境大臣などが名誉会員になっており、小生の田んぼだけでも進次郎さんの田んぼも刈ってききました。目的は「白米千枚田」と、和倉や輪島の温泉ですが、道中はJRでは「花嫁のれん(金沢)和倉温泉」との鉄道というローカル線では「のと里山里海(七尾)穴水」という観光列車が走っています。共に一時間ほどの短い旅ですが、地元の産物を使った食事やスイーツと飲み物が楽しめます。花嫁のれんでは、車内を彩る加賀の伝統工芸もきれいで、夕方の「ほろ酔いセット」がおすすめ。

のと里山里海では、海を眺めながらの昼の「寿司御前」がお薦めですが、笠師保駅にある浜焼きの店の焼き牡蠣(十月〜六月)も絶品です。



白米千枚田の夕日

会員図鑑

山本 遥



アベックス産業(株) 業務部 入社三年目の二十八歳。持ち帰り寿司店の店長を約二年務めたという経歴の持ち主。

齊藤 健一



アベックス産業(株) 業務部 入社二年目の四十六歳。居酒屋の店長を十年以上務め、その経歴から、人と話をするのが大好き。

その経験が生きて、魚を捌くのが得意。また、後輩の育成に長けている。趣味はエヴァンゲリオン。最近公開されたエヴァンゲリオン新劇場版の映画を休みの度に見に行く程、エヴァをこよなく愛する。

子供の頃、中の仕組みを知りたいと、時計とかカメラを分解して、元に戻そうとして、ネジが余ってしまったという経験はありませんか。好奇心や探究心は、成長への第一歩といえ、特に最近の機械や道具は、電子部品が多く使われ、多機能化しているものが多く、素人が分解すると、まずダメになってしまうものがほとんどです。そこでお勧めなのが、今回ご紹介する小学館の「分解する図鑑」です。掲載されている機械や道具は約五十種類。編集者によると、撮影のため分解したけれども、撮影後、元に戻せずメーカーに泣きついたものも少なくないとか。おかげで好奇心は満たされますが、それでも分解してみたいという気持ちが抑えられないのは、なぜでしょう!



小学館 2090円 表紙

「問題」同音異義語を探そう 同音異義語になるようにリストの中から選んで二字熟語のペアを作ってください。するとリストに四字熟語が残ります。それで二文字の同音異義語を作ってください。それが答えになります。

Word puzzle grid with clues: 自信, 火星, 水洗, 害虫, 国会. List: 外推, 家成, 薦海, 震書, 黒夏, 化注, 初地. Answer: 自信, 火星, 水洗, 害虫, 国会.

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。〒105-0014 東京都港区芝2の23の4 アベックス産業(株)内 APEX CLUB宛 ファクシミリ番号 03-3455-6558 令和3年8月末日(当日消印有効) 正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。★前号の正解と当選者(順不同) 正解は『大安吉日』でした。 今回の当選者は、遠藤大仁様、鎌田晃様、横田純子様